

## ＜参考＞ 進行案（写真から想像しよう／演じてみようを組み合わせた場合）

※全体で 90 分間を想定した進行案になっています。説明用のパワーポイント資料が欲しい方は [event@shaplaneer.org](mailto:event@shaplaneer.org) までお問い合わせください。

時間	概要	流れの詳細
(10分)	フォトランゲージ	各グループに写真（働く少女の写真 a-1,2）を配布。 写真からこの少女がどんな子か、何をしているか、気づいたことや疑問に思ったことなどを自由にグループで話し合う。 ◆参考：写真から想像しよう・手順書
(5分)	説明	家事使用人として働く少女たちについて説明 ※ご要望に応じて、パワーポイント資料をお送りします
(10分)	ウェビング	さっきの写真の少女は家事使用人として働く少女だったことを知り、なぜ働いているのかをグループで自由に考える。 →ホワイトボードに「家事使用人として働く少女」と書いて○で囲み、その理由を例で書いてみる。 例：家が貧しいから←農家で天候に左右されるから←水害があったから など。
(45分)	ロールプレイング ウェビング	① 各グループにシナリオと補足資料を配布する。登場人物、話し合いの背景を説明する。 ② 7人グループで1人1役を分担。各自シナリオを読み、ルビナにとっての幸せは何か、役の立場から考え記入してもらう。 ③ 父親が進行役となり、グループごとにルビナを家事使用人として働きに出すかどうかの話し合いをする ◆参考：演じてみよう・手順書
(10分)	ウェビング	ロールプレイ前に行った「なぜ働いているのか」のウェビングを再度行う。新たに気付いた点を違う色のペンで追加してもらう。 →いくつかのグループに共有してもらう
(5分)	説明	少女が働く背景には複雑な要因があることを説明（貧困だけが原因ではない）。シャプラニールが行っている活動を紹介。 ※ご要望に応じて、パワーポイント資料をお送りします
(5分)	振り返り まとめ	最後に「もしあなたがルビナだったら何が一番幸せですか？」と参加者に問いかける。それはルビナだけでなく、参加者自身や日本の子どもたちなど、誰にとっても幸せなことであることを感じ、家事使用人として働く少女が遠い国の知らない人、ではなく同じ地球に生きる仲間であること、自分ごととして認識する。